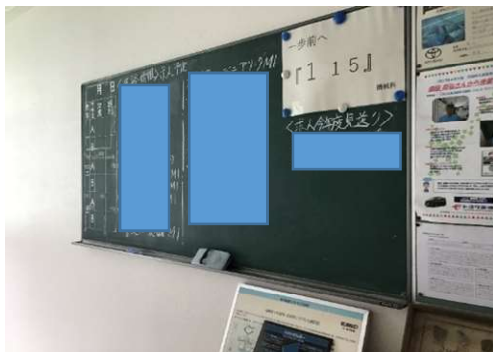


求人情報について

本校の求人数の動向は昨年度より新型コロナウイルスの影響を受け減少傾向にあります。それでも昨年度の求人数は1871名でした。今年度もこういった社会情勢でありますので求人数の減少は間違いないという予測ができます。

例年、5月中旬(中間考査期間中)に企業訪問を行っていましたが、感染症拡大防止のため県をまたぐ出張は実施できませんでした。その代わりに、各企業の人事担当者と、Web連絡やメール等のやり取りを通して、来年度の採用数や希望する人物像(成績、欠席日数、人間力など)、本校への求人予定など情報収集を行いました。情報収集を進めていくと予測に反して、ほとんどの企業で本校に求人を出せる見込みですという嬉しい返答をいただきました。その中でも、今年度の採用は見送りますといった企業も当然ながらありました。採用を予定



(機械科西側黒板の求人動向)

している企業の中には、昨年度から採用数減ではありますが、「卒業生が頑張ってくれている日田林工さんにはどうしても求人はしたかったです」という嬉しい声も聞くことができました。このコロナ禍においても求人を出せる企業は、将来性のある企業だと思っていでしょう。ただ、今現在は求人が見込めるとい段階で受験のチャンスがあるというだけのことです。進路決定に向けて今まで以上に真剣に取り組む、「満足度100%」を目指しましょう。

ものづくりコンテスト参加報告

6月3日(木)から4日(金)にかけて鶴崎工業高校にてものづくりコンテストが行われ、旋盤作業部門に選手としてM2矢羽田君、補助員としてM1三笠君が参加しました。矢羽田君は、昨年卒業した瀬戸君から技術の伝承を受け2年生ながら出場しました。競技の練習は昨年の2学期後半から開始し、



(矢羽田君と三笠君)

4月からは中野先生とともに夜遅くまで練習に取り組むなど努力を続けてきました。本番は、緊張感が伝わってきましたが時間内に製品を完成させ、自分の力は発揮できたようです。結果は上位入賞とはいきませんでしたが、日々の努力の過程は来年度につながる大きな財産となったことでしょう。

教育実習が行われました！

6月7日(月)～18日(金)の2週間で平成30年度本校機械科卒業の藏本先輩と宮崎先輩が教育実習を行いました。先輩たちは、高校当時はソフトテニス部に所属しており、現在は大学4年生で教員免許取得のため教職課程の勉強や卒業論文に大忙しです。教育実習では藏本先生がM2の機械工作、宮崎先生がM1の機械設計を担当しました。将来は、機械科の教員を目標としており、今回は実習での実技指導や座学(教室での授業)、クラスでの朝礼と終礼、さらに部活動指導など様々な経験を積みました。公開授業では、黒板にぎっしり板書するなど生徒に対する熱意が伝わりました。日田林工機械科を卒業して教員を目指すところは、後輩に向けて幅広い進路が開けているという良い見本となりました。



藏本先生



宮崎先生

機械科は生徒満足度100%を目指します！